

主任教授からのメッセージ

肝臓外科は、生命に直結する専門性の高い領域です。確かな技術と冷静な判断力、そして患者さんと真摯に向き合う姿勢が求められます。外科医というと、体力的に厳しい・長時間労働という印象を持たれがちですが、実際にはチームとして役割を分担しながら診療を進める時代に変化しています。手術だけが外科医の仕事ではなく、術前検討、術後管理や研究など、総合的に患者を支える力こそが現代の外科医に求められる資質です。こうした多面的な役割の中で、女性医師が力を発揮できる場面は確実に広がっています。

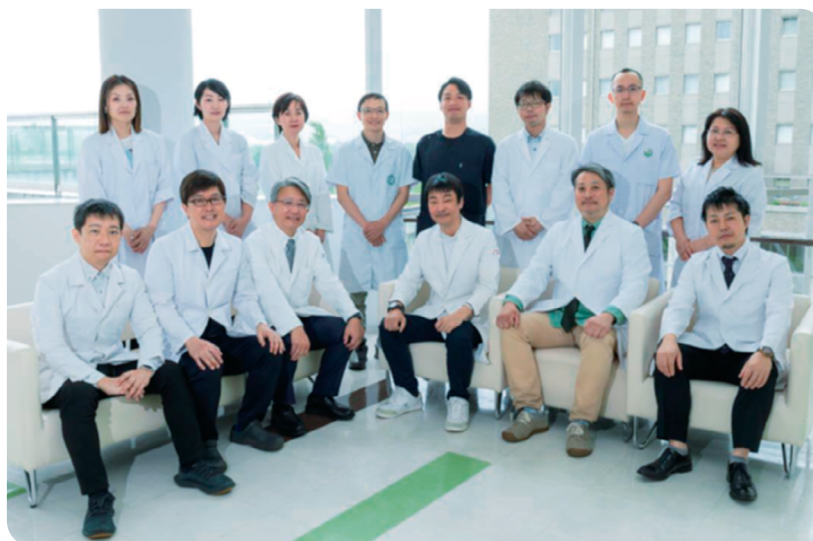
現在、当講座には女性医師は在籍していません。肝臓外科医としてどのように働くか？は、女性医師だけでなく、男性医師にも言えることですが、互いの外科医としての在り方を認め合える医局を目指しています。私たちは、出産や育児、家庭との両立をしながらも、外科医としてのキャリアを途切れさせないよう、支援体制を整えていきたいと考えています。

それぞれのライフステージに合わせた柔軟な働き方の中で、手術・診療・研究・教育という肝臓外科の醍醐味を味わい、活躍されますよう、私が責任をもってサポートいたします。

○ 診療科の特徴

肝臓外科では、肝臓・胆道に関する外科治療を中心に、悪性腫瘍から良性疾患まで幅広く診療を行っています。年間の手術件数は全国においても最多クラスを誇り、ロボット支援手術をはじめとする高度な手術も多数行われています。

また、基礎研究から臨床研究まで幅広いテーマに取り組み、手術成績の向上や新たな治療法の開発に貢献しています。国内外への学会発表の機会も多く、研究者としても大きく成長できる環境です。



▶ 職場復帰への取り組みについて

○ 復帰までの道のり

どのような勤務形態で復帰するかは、本人の体調、希望などに合わせて相談して決定します。産休・育休明けには、大学の規程に従い、勤務を開始します。

研修プログラムについて

肝臓外科		指導下	独立
シミュレーション	処置 手術手技	休み期間中や復帰後適宜指導します	本人が単独で練習することも可能です
手術	ロボット支援手術 腹腔鏡手術 全麻開腹手術	1 か月 (休み前の経験で異なります)	2 か月以降 (最短)
外来	検査 一般外来		
病棟	入院患者受け持ち 救急対応		

○女性医師キャリア形成支援担当医師からのメッセージ

肝臓外科医のキャリア形成には長い時間が必要ですが、当講座では「継続できる働き方」を重視しています。出産や育児の時期だけでなく、家族の介護やライフイベントなど、誰にでも起こり得る状況に柔軟に対応できる体制を整備して参ります。

現在、手術・病棟業務・休日当番などもそれぞれの状況に応じて役割分担を行い、ライフワークバランスをより重視した労働環境を整えてきており、人員の増員により、さらなる改善が可能な見込みです。

大切なのは「一人で抱え込まないこと」。チーム全体で支え合い、互いのライフイベントを尊重しながら、成長を続けていける環境を目指しています。